

デーリー東北

2025年(令和7年)3月5日(水曜日) (10)

八工大と村産業協議会のプログラム



坂本禎智学長(左)から履修証明書を
受け取る修了者

「1期生」10人が修了 力学の専門的知識学ぶ

六ヶ所

八戸工業大(坂本禎智学長)と六ヶ所村産業協議会(千田昇会長)が2023年度に始めた社会人対象の「HIT機械工学基礎プログラム」の修了式が2月28日、六ヶ所村のスパハウスろっかぼっかで開かれた。「1期生」として修了した10人が2年制のプログラムで

学んだ専門的知識を各職場、現場で生かし、さらなる活躍につなげることを誓った。

同プログラムは教育機関が学生以外に学習課程を提供する「履修証明プログラム」の一環で、同大の教員らが村内に向いて、講義を実施した。

同協議会に所属する企業の若手技術者ら社会人が対象。受講者は材料力学や熱力学など、機械工学に関する四つの力学を約2年間にわたって学び、専門的な知識を養った。

28日の修了式では、同協議会の千田会長が「2年間、仕事をしながら学ぶというのは大変だったと思う。村のためにこれからも活躍してくれれば」とあいさつ。修了者は八工大の坂本学長から履修証明書を受け取った。

全課程を修了した受講者の北上理雄さん(24)は「文系の大学を卒業したため、力学を学べる機会があつてよかった。仕事に関係する内容への理解を深められた」と話した。

(上村公悟)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。